

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

一般内科医として必要な基本姿勢・態度や基本的技術を習得するとともに、消化管疾患、肝胆膵疾患などの診断と治療に関する臨床的な知識と技術を習得する。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 症状・徴候を判断し鑑別診断に役立てることができる。
食欲不振、体重減少・増加、浮腫、発熱、意識障害、嘔気・嘔吐、胸焼け、嚥下困難、腹痛、腹部膨満感、下痢、便秘、吐血、下血、など
2. 一般的な消化器疾患診療に必要な診察法、検査に習熟し、その臨床応用ができる。
 - ① 自ら実施し、結果を判定評価することができる。
 - ・理学的所見(頸部・胸部・腹部・四肢)、血算、血液生化学検査、検尿・便
 - ・採血法(静脈血、動脈血)、注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保)
 - ・単純X線検査(胸部X線写真、腹部X線写真など)、心電図
 - ・腹部超音波画像診断法(肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓など)
 - ② 指示・依頼を行い、または指導医のもとで実施し、自ら結果を判定または評価できる。
 - ・X線CT、MRI、腹部血管造影検査、上部・下部造影検査、生検(肝・消化管)
 - ・上部・下部消化管内視鏡検査(ダブルバルーン・カプセル内視鏡検査含む。)
 - ・内視鏡的逆行性胆膵管造影検査、超音波内視鏡検査

III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファレンスなど

IV. 経験できる疾患・手術など

経験できる疾患

- ・急性腹症、腹膜炎、炎症性腸疾患、イレウス、消化管出血・穿孔
- ・食道・胃静脈瘤、消化性潰瘍、上部及び下部消化管腫瘍、
- ・急性/慢性肝炎、肝硬変/肝癌、アルコール性/薬物性肝障害、自己免疫性肝疾患
- ・胆道結石、胆嚢炎、胆管炎、胆道系腫瘍、急性/慢性膵炎、膵嚢胞、膵腫瘍

経験できる特殊手技、手術など

- ・腹水穿刺・胸水穿刺、副腎皮質ステロイド投与方法
- ・肝炎・肝硬変に対する肝庇護・抗ウイルス療法、肝炎ウイルス感染予防対策
- ・消化器疾患に対する栄養療法(中心静脈栄養法・経腸栄養法・食事療法)
- ・内視鏡的静脈瘤治療(結紮術、硬化療法)
- ・内視鏡的消化管腫瘍切除術(粘膜下層切開剥離術、粘膜切除術)
- ・内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的胆道ドレナージ術、肝胆膵系腫瘍に対する化学療法
- ・肝癌に対する経皮的治療(ラジオ波焼灼術、エタノール注入療法)、血管造影による治療(放射線科でなく当科で施行)
- ・肝移植適応の決定・実施に向けた管理

V. 評価 (Evaluation)

Minimum EPOC、症例発表による自己評価・指導医評価。
指導医・看護師などによる形成的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 鳥村 拓司
2. 指導責任者 井出 達也
3. 指導医 中野 聖士、井上 博人
4. 研修施設 久留米大学病院、久留米大学医療センターなど

VII. 週間予定

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 月 8:00 | 新患紹介・ミニレクチャー |
| 11:00 | 栄養カンファレンス |
| 16:00 | 肝癌カンファレンス |
| 18:00 | 感染症カンファレンスor消化器内科セミナー (随時) |
| 火 17:00 | 消化管カンファレンス・胆膵カンファレンス |
| 金 8:00 | 新患紹介・抄読会 |
| 9:00 | 教授回診 |
| 13:30 | 研修医カンファレンス |
| 16:00 | 消化管カンファレンス、 |
| 16:00 | 肝炎・肝不全カンファレンス |
| 土 8:30-12:00 | 病棟業務 |

